

発行 NPO法人まほうのらんぷ
連絡先 豊田市上原町上原6-7
TEL 0565-42-2221



ホームページ <http://mahounolamp.gozaru.jp/>
ブログ <http://mahoulamp.booo-log.com/>

遂に、始動!! 地域活動支援センターはたらくば Café Musu. B OPEN!!

12年前、まったくの手探りの状態からスタートした私たちの活動ですが、当初の予定通り2010年4月に働く場をオープンすることができました。ここに至るまで本当に多くの方々のご支援を得て、なんとか実現をすることができました。誠にありがとうございます。

2010年4月1日、障がいがあっても誇りを持って働ける場として、地域活動支援センターはたらくばを開設しました。そして4月28日には、メイン事業「Café Musu. B(カフェむすびいー)」をオープンし、現在サブ事業の「からっと工房」を準備中です。

現在6名の障がいのあるスタッフと、職場体験として3名の養護学校在学中の生徒さんたちが、それぞれの得意分野を活かして仕事をしています。オープンから半年が経ちますが、誰一人と体調を崩すことなく通ってきています。仕事には慣れてきましたが、しっかりと緊張感を保ちながら、またスタッフが互いに評価し合いながら毎日を過ごしています。

オープン当初、「とても生き生きとした表情で仕事をしているのが印象的だね」と多くのお客様に言われてきましたが、ここ最近では「接客がとても丁寧で、気持ちがいい」と仕事の内容も誉めていただけるようになりました。スタッフも日々成長しています。



NPO法人まほうのらんぷは、まずは障がい者の『働きたい』を応援します。次に親が高齢になっても安心して生活ができるように、ケアホームなどの設立に向けて活動を展開します。そして、障がいの有無に関わらず、子どもからお年寄りまでが住みなれた地域で生活できるように、暮らしやすいまちづくりを目指しています。



NPO法人 まほうのらんぶ理事長 谷沢 雄樹さん(31)

障害者が健常者と一緒に働くカフェ「Cafe Musu・B(カフェムスビー)」を四月末に、豊田市上原町にオープンさせました。店を運営するNPO法人で理事長を務めています。

店づくりのきっかけは障害者が働く場所がなかったことです。十八歳で特別支援学校を卒業すると、通える施設が定員でいっぱいになっていくのが現状です。カフェで働く障害者五人とは、彼らが小学生からの付き合い。場所がないならつくるしかないと思って、

働く場所を提供 障害者生き生き

が、開店前の清掃から皿洗いや仕込み、商品の提供へと変わるにつれて、集中力が続くようになり、言葉遣いも丁寧になりました。あんな生き生きとした表情を見させてくれたのは、初めてでした。障害者とかかわるようになったのは大学三年生の時です。福祉系の大学に通っていたのですが、実は障害者や高齢者と接するのが苦手でした。それが、当時小学生だった彼らと遊ぶうちに、楽しくなっていきました。

三年前から構想を練り始めた。私が大学卒業後、男の子かを考えた。女性や子ども連れが入院しました。付き添って将来の話をしていこうと。彼「『いらっしやいませ』を聞きたい」との言葉をもらいました。夢をかなえてあげたい。だけど、本人の努力だけでは実現できません。食店で職場体験をし、接客力を学びました。仕事をサポートしたい

彼らには接客業がぴったり。成長見て胸詰まる



し、一緒に働きたいの思いが、私の原動力です。カフェのオープンまではあつという間でした。彼らが卒業する三月までにめどをつけねばなりません。開店後は、毎日が驚きの連続です。洗濯が終わる時間になると「タオルを干していいか」と自分から聞いてきます。指示を待つのではなく、確認をするようになりました。小さいころから知っているだけに「ここまで成長したんだ」と、胸が詰まる思いです。家族や友人だけでなく、いろんな人が来てくれるようになりました。「接客が丁寧」と言われます。障害者について少しは知ってもらうことができたかな、と思っています。(聞き手・杉山直之)

たにざわ・ゆうき 1979年3月、豊田市生まれ。団体は障害者の自立支援などを旨とし、98年から活動している。カフェでは、地元産米を使ったおにぎりや新鮮野菜

の総菜などを味わえる。営業は午前11時半～午後6時。定休日は日曜。豊田市和会町在住。☎まほうのらんぶ 電0565(42)2221

カフェオープンに伴い、中日新聞(4月21日)、毎日新聞(4月24日)、矢作新報(5月14日)読売新聞(5月15日)に掲載していただきました。また、ひまわりネットワークで特集を組んでいただいたり、ラジオらぶいーとからの取材を受けたりと様々なメディアでまほうのらんぶの活動をPRすることができました。取材を受けるごとに、障がいがあってもその人の能力に合わせ、自分らしく働くことが、充実した生活を送ることに不可欠であることを痛感すると共に、その後の問合せの多さから、障がい者の働く場整備が不十分であることを今まで以上に問題として考えるようになりました。常に「今、自分たちができることはないか」と考えていきたいと思い、11月にチャリティ企画を実施する予定です。詳しくは4面をご覧ください。

障がいがあっても、いきいきと誇りを持って、働いています。

豊田市上原町に障がいのある人の働く場として、カフェをオープンしました。愛知県産木材を使った明るい店内で、ゆったりとランチやコーヒーを楽しみませんか？

店内に入ると「いらっしゃいませ」と、大きな声のあいさつで迎えられ笑顔いっぱいのスタッフがメニューやお茶を運んでくれます。障がいのある人のいきいきとした表情で、楽しそうに仕事をしている姿をぜひ見に来てください。



ランチはおにぎりや、サラダ、惣菜、みそ汁がついて630円。そして、+150円でドリンクとデザートが付きます。

とてもやさしい味の料理と、明るい店内、そして一生懸命に働くスタッフの姿を見て、心も身体も元気になります。

店内での食事の他、ランチBOX(写真参照)や、おにぎりの持ち帰りや、イベント時の大量注文やオードブル(写真参照)など、お客様のご希望も丁寧に相談にのります。

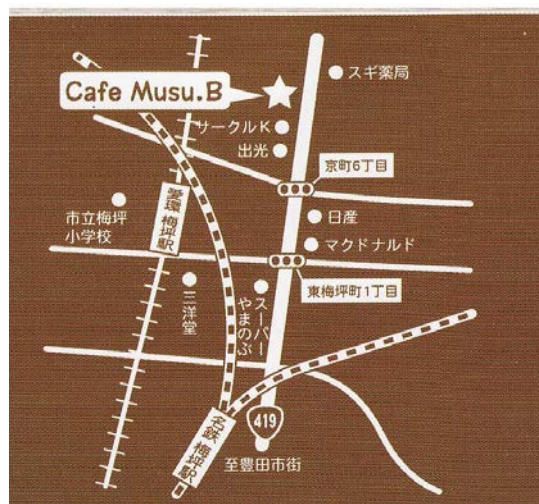


オードブル(4,000円)



ランチBOX(450円)

Cafe Musu.B
(カフェ ムスビー)
豊田市上原町上原6-7
電話 0565-42-2221
営業 11時30分~18時
(オーダーストップ17時30分)
定休日 日曜日
※地域活動支援センターはたらくばの
メイン事業として展開中



頑張る仲間を応援したい!!

Café Musu.B チャリティフェアを開催します。

カフェを運営し半年が経ち、障がいがあってもその人の能力に合わせ、自分らしく働くことが充実した生活を送ることに不可欠であること、またカフェへの問合せの多さから、障がい者の働く場整備が不十分であることを痛感しました。「今、自分たちができることはないか」と考えていた時に、NPO法人ユートピア若宮さんが平成23年度に障がい者の働く場作りに向けた活動を知り、チャリティフェアを開催することにしました。

期 間 平成22年11月8日（月）～20日（土）
（日曜日は休みです）

時 間 11時30分～18時（ラストオーダー17時30分）

内 容 期間中の売上げの一部は、ユートピア若宮さんの働く場作りに寄付されるほか、カフェではユートピア若宮さんの活動PRやお客様への手作り品のプレゼントなどが企画されています。

NPO法人ユートピア若宮さんは

どんなに重い障がいを持っていても、自分らしい人生を送りたい人たちをサポートする団体で、今まで障がい当事者の視点から、送迎サービス、ヘルパーの派遣事業など、必要なサービスを作り上げてきました。
そして平成23年4月に障がい者の地域生活をサポートする目的で、障がい者の働く場「つむぎ」を作る予定です。



賛助会員さんを募集してます！

賛助会費が運営には不可欠です。賛助会員に入会しご支援ください。会員様には広報紙など活動内容を随時お伝えします。

■ 年会費1口 1,000円（何口でも構いません）

振込先 豊田信用金庫 本店 普通口座9045785
特定非営利活動法人まほうのらんぷ 理事谷澤雄樹
（とくていひえいりかつどうほうじん まほうのらんぷ りじたにざわゆうき）

この用紙はジャスコ豊田店のイエローレシートキャンペーンでいただいたものです。
NPO法人まほうのらんぷは、イオン幸せのイエローレシートキャンペーンをジャスコ豊田店で参加しています。毎月11日に発行される黄色いレシートは、ぜひまほうのらんぷのBOXにお願いします。